

曹洞宗

群馬県宗務所 第13教区報

第 8 号

令和2年1月1日発行

新教区長就任ご挨拶

曹洞宗群馬県宗務所
第13教区長

永隣寺住職 堀口元澄

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年が天災もなく平和で、皆様にとって幸多き一年でありますようお願い申し上げます。

私は昨年5月に、第13教区長を拝命いたしました。力不足ではありますが、歴代の教区長老師のもとで築き上げられた教区寺院と檀信徒の皆様との協力・信頼関係をさらに発展させられるよう努力したいと思います。皆様のご指導・ご協力をよろしくお願いいたします。

昨年10月には、台風19号が甚大な被害をもたらしました。この教区内でも土砂崩れで3名の尊い命が奪われました。亡くなられた方のご冥福を心からお祈りいたします。さらに浸水被害等で多くの方が被災されました。実は、教区の活動として、10月末に東日本大震災被災地の陸前高田市において、慰霊法要や炊き出しボランティア等を計画していました。しかし、皆様にご理解いただき、この活動は中止といたしました。その代わりに、「微笑会」の際に寄せられた募金をもとに、「群馬県共同募金会、令和元年台風19号災害義援金」として緊急に20万円を寄付させていただきました。被災地支援物資として、お米や洗剤・タオル類が集まっていたので、陸前高田市と台風被災地などにお送りいたしました。その他、教区内で本堂裏や墓地の斜面が崩れた寺院がありましたが、若手の僧侶がボランティアで迅速に対応し、土砂を掻き出すなど、できる範囲内で復旧の手助けを行っていただきました。

また、この1月1日付けで、下仁田町の長楽寺住職峯岸正典老師が曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監部総監に就任されました。ヨーロッパでは近年「禅」に興味を持つ人が増え、多くの寺院や禅道場が開かれています。峯岸老師は、ヨーロッパでの布教の責任者として、パリを拠点に布教活動に務めていただきます。ご活躍をお祈り申し上げます。

13
教区
31
ヶ寺院

富岡	菅蛇原	南高井	上下尾	下高田	上丹生	宇田生	宮崎	宮崎	一ノ宮	一下宮	富瀬岡	岡本	下仁田町	本宿	中坂	南牧村	檜沢	甘楽町	轟引	天幡	小幡	善慶寺	国峰	国峰	白倉	小川	秋川	秋畑	小天幡	秋引	高崎市	上奥平
	陽雲寺	最興寺	長学寺	生寿寺	永隣寺	金乗寺	神守寺	桃林寺	永乗寺	三會寺	連珠寺	光厳寺	海源寺	福寿院	長楽寺	延命寺	永昌寺	宝積寺	向陽寺	宝泉寺	福嚴寺	興嚴寺	長善寺	松泉寺	宝林寺	天徳寺	西光寺	松慶寺	寿福寺	泉龍寺	宗伝寺	

曹洞宗ヨーロッパ国際布教総監部総監就任挨拶

下仁田町本宿 長楽寺 住職 峯岸正典

上智大学を卒業後、愛媛県瑞應寺で修行。大学院で哲学を学んだ後、ドイツのミュンヘン大学にて神学を学びながら、修道院で修道生活を体験。また、大本山永平寺国際部講師、曹洞宗特派布教師等歴任し、宗教間対話研究所を創設。



このたび、ヨーロッパ国際布教総監部（在パリ）に赴任することになりました。全欧に三百から四百の曹洞宗寺院があります。日本人僧侶は私の知る限り、四名くらいです。北欧から南欧まで、現地の方が坐禅を中心とした生活と布教を重ねています。

もとより力不足の私ですが、努力目標をまとめれば、①坐禅をしているときも、また、していないときも、ともに坐禅の心で生きる。②私心を入れず、仏さまに捧げる行き方を指す。③現地の方々と心をつなげる、の三つであります。①に関しては「出来ない」、②に関しては「無理」、③に関しては「不得意」との内心の声が聞こえてきますが、あこがれとしての目標とご賢察いただければ幸甚です。

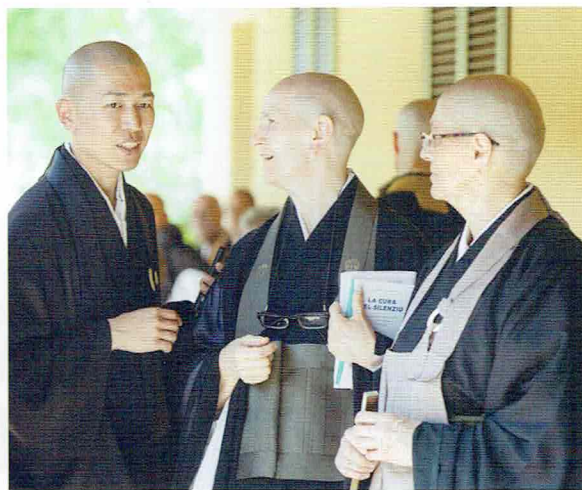
イタリア普伝寺通信

堀口智玄

富岡市下丹生 永隣寺副住職
ヨーロッパ国際布教師として、イタリア北部にある普伝寺という曹洞宗寺院に赴任（現在2年目）

正法山普伝寺

1984年、精神的、文化的な修行の場として創立。
2009年曹洞宗海外特別寺院としての認可。
パルマ地方の丘に位置し、美しい風景に囲まれた僧堂。



道元禅師が記された『正法眼蔵自証三昧』に、「東辺にして一句をききて、西辺にきたりて、一人のためにとくべし」という言葉があります。これは、聞いて学んだことを、誰か一人のためにでもそれを伝えなさい、一人前になるのを待つのではなく、これをする中で、東にいた自分と西にいる自分を同時に学ぶことができ、更に理解を深めることができるというものです。東、西というのはたとえば、東の国日本から西へ渡欧した私に合った言葉だと思い、この言葉を胸に、未熟な身ですが現地僧侶と一緒に坐禅修行をしながら、日本で学んだことを伝え、自分の学びとしています。

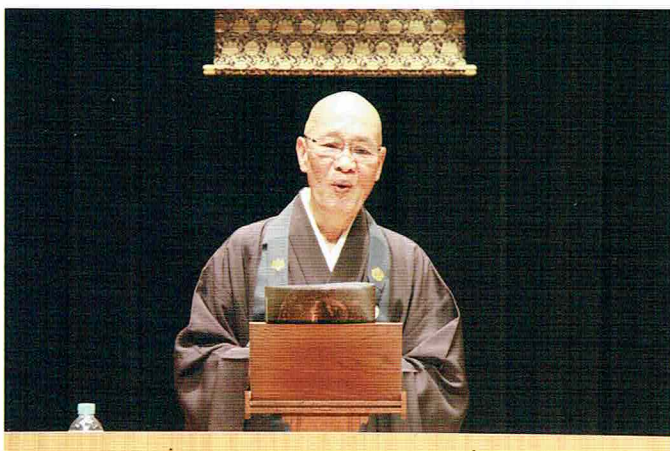
任期中は、お二人のヨーロッパ生活の様子について、教区報にてお知らせいたします。

第15回微笑会が開催されました

日時：令和元年5月26日 午後2時～4時
会場：甘楽町文化会館 参加者：392名

今年度は、長崎県大村市 禅心寺東堂（前住職）金子眞介老師により、「生と死をみつめる一今をより豊かに生きるために」と題しお話いただきました。平成から令和へと新時代を迎えた私達に、ご自身の様々な体験談を交えながら、心に拠り所となる灯をともし、「覚悟」と「平静」を持って今を精一杯生きることの大切さを説かれました。

併せて、13教区が取り組む東日本大震災及び自然災害被災地支援活動の報告と募金活動を行い、175,238円もの義援金が集まりました。また、福厳寺住職松浦彰一老師により坐禅指導も行われ、椅子坐禅体験では会場全体が静寂に包まれていました。



◆第16回微笑会は以下の日程で開催予定◆

日時：令和2年6月20日（土）

午後2時開演

会場：甘楽町文化会館

講師：静岡県 林斐院

鈴木包一老師

入場無料 どなたでも参加できます

微笑会ホームページアドレス

<http://misyoue.main.jp/>



眼蔵会

日時：令和元年 5月30日(木)

福井県小浜市 妙徳寺住職 古坂龍宏老師を講師にお招きし、群馬県祖門会主催の第30回眼蔵会が甘楽町福厳寺にて開催されました。

眼蔵会とは、道元禅師の示された『正法眼蔵』を学ぶ講座ですが、今回は『正法眼蔵』の中の『弁道話』の御提唱でした。



OH会LGBT研修（13教区僧侶研修の会）

日時：令和元年6月2日(日)

真言宗 大徳山浄峰寺住職 柴谷宗叔師をお招きし、ご講演いただきました。ご自身もトランスジェンダーであられる柴谷師の話はとても興味深く、LGBTとは何かについて、改めて考えさせられました。また、昨年お世話になりましたセクシュアルマイノリティ支援団体ハレルワの皆様にもご参加いただき、活発な意見交換ができました。



特派布教

日時：令和元年10月8日(火)

甘楽町向陽寺において特派布教巡回講習会が行われました。今年は秋田県能代市 梅林寺住職 木村高寛老師をお迎えし「ともに生きる」という演題で法話を賜りました。各寺院檀信徒計116名と大勢のご参加をいただき盛会裡に圓成いたしました。



第8回 寺院に親しむ講座

日時：令和元年11月7日(木)

第8回寺院に親しむ講座が、富岡市生寿寺において総勢24名の参加者のもと開催されました。片桐龍照住職の指導のもと、『延命十句観音経』の写経と『聖観世音菩薩』の写仏が行われました。書きあがった写経は“お守り”にしてご祈祷したのち、お持ち帰りいただきました。静ひつな雰囲気の中に、笑いもある楽しい時間となりました。



その他の13教区内寺院が参加した主な活動報告

- | | |
|-------------|---|
| ・ 3月11日 | 東日本大震災慰霊法要、托鉢（高崎市 龍廣寺 高崎駅にて） |
| ・ 6月17日～18日 | 現職研修会 |
| ・ 6月22～23日 | 緑蔭禅の集い（吉井町 仁叟寺にて） |
| ・ 7月23、24日 | こども禅の集い（館林市 源清寺にて） |
| ・ 8月29日 | 詩偈講習会 |
| ・ 10月17日 | 福寿院土砂撤去作業 |
| ・ 10月26日 | チャリティバザー開催（高崎 もてなし広場にて） |
| ・ 11月9日 | 台風19号災害支援托鉢 |
| ・ 11月14～15日 | 東日本大震災慰霊法要並びに南相馬市ボランティア活動（南相馬市ボランティアセンターにて） |
| ・ 11月19日 | 長野市妙笑寺土砂撤去作業 |
| ・ 11月25日 | 禅をきく会（吉井町 仁叟寺にて） |
| ・ 12月9日 | 長野市妙笑寺土砂撤去作業 |